



HIMES ニュース

ハイメス

Hokkaido International Music Exchange Society News Letter

■ハイメス創立30周年記念コンサート

写真撮影 竹内浩樹



ハイメス創立30周年記念コンサートを終えて

練習初日、急遽時間変更が行われたにも関わらず、大きな混乱にならず無事に終わることが出来たのには、出演者は勿論、多くの裏で支えてくれた会員のおかげだった。

そして、札幌市民交流プラザの中にあるクリエイティブスタジオの初めての音だしがハイメスオーケストラだったのも感慨深いものがあった。

2日目は札幌文化芸術劇場ヒタルでの札幌に次ぐ音出し。出演メンバーにとって大きな思い出となった。3日目は本番会場である札幌市教育文化会館大ホールでの練習。毎日会場が変わったため練習の内容も少々変わる事となったが、それがかえって集中に繋がったかもしれない。また本番と同じ会場で前日に音出しが出来たのはとても良かった。

そして本番。前半は創立20周年にハイメスの為に作曲された序曲から始まり、尺八二重奏、同じく札幌の重要な声楽家二人によるオペラ作品、お祭りのための作品である「動物の謝肉祭」。後半はR.シュトラウスの記念作ともいえる作品1の「祝典行進曲」、そしてシベリウスが50歳の祝いのために自ら作曲した交響曲第5番のプログラム。アンコールは尺八とチェロ四重奏による「江差追分」とハイメスオーケストラコンサートでお馴染みの「騎士の行進曲」が手拍子とともに演奏された。ステージそして客席共々熱のこもった30周年のコンサートとして相応しい素晴らしいコンサートとなった。

ハイメスオーケストラは他では見られない非常に幅広いメンバーからなっているが、プロの札幌のメンバー、フリーのプロ奏者の両方を会員に持つハイメスだからこそ出来る重要な役割を今回も果たした。

ハイメス創立30周年記念実行委員会記念コンサート部会
部会長 文屋 治実

ハイメス創立30周年記念コンサートを振り返って

■アーティスト会員 竹津香苗さん

ハイメス30周年の歴史に、想いを馳せながら演奏を聴きました。ハイメスアーティストの演奏で、和と洋を織り交ぜたプログラムは、30周年のお祝いの心に残る演奏会でございました。ハイメスオーケストラはプロ演奏家とアマチュア演奏家が共に音楽を造りあげることで、アマチュアオーケストラのレベルを高め、より音楽を愛する心が養われ、益々道民の皆様がオーケストラに親しむ機会が増えました。音楽のすそ野が大きく広がることを願って竹津は始めました。ハイメスの「若い演奏家を育てる」と云う想いを繋いで行くことが竹津の希望、願いでございました。キタラ、ヒタルのステージでハイメスアーティストの皆様の活躍を楽しみにしています。

■個人会員 西村公男さん

10年前、創立20周年記念事業として行われた「記念特別演奏会」で主役を担ったのが、竹津さんの提案で始まった6年目のハイメスオーケストラ（発足時は道民オーケストラの名称）。記念式典など4つの記念事業のいわば目玉ともいえるこのコンサートは、例のファンファーレに始まり、大合唱付き「序曲1812年」で閉じる和洋混載で、盛りだくさんの内容。キタラ大ホールはフレッシュな響きで満たされた。あれから10年。先日の堂々たる各ステージは、この間の蓄積の重さを実感させ、感無量であった。



ハイメス主催・共催事業一覧

■創立30周年記念

第18回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサート

(公財)札幌国際プラザとの共催事業です。ハイメスに新しく入会したアーティストを中心としたバラエティ豊かなコンサートです。コンサートの終わりには出演アーティストと会場の皆さんと一緒に『時計台の鐘』を歌います。

【日時】平成30年12月11日(火) 午後7時開演

【会場】札幌市時計台ホール

【出演】

◇ソプラノ 美野明子 ピアノ 小杉 恵

W.A.モーツァルト モテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」より
第3楽章“アレレヤ” 他

◇クラリネット 松原郁美 ピアノ 佐藤香奈

F.プーランク クラリネットとピアノのためのソナタ

◇ピアノ 三上絵里香

S.プロコフィエフ ピアノソナタ第7番 変ロ長調 Op.83

◇フルート 出塚麻衣 ピアノ 小杉 恵

P.カミュ シャンソンとバディネリ 他

◇ピアノ 徳田貴子

F.ショパン 3つのマズルカ Op.59 他

■第50回 ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート 「音楽の宝石箱」

ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサートは毎回テーマを決めて開催しています。今回は開催50回目を記念して、アーティストが得意とするレパートリーやチャレンジしてみたい曲などを持ち寄り、宝石箱のようなたくさんの煌めきを音楽に乗せてお客様にお届けしたいと思っています。ザ・ルーテルホールとの共催事業のコンサートシリーズです。

【日時】平成31年3月6日(水) 開催 午後7時開演

【会場】ザ・ルーテルホール

【出演】検討中

■第31回 ハイメスコンクール<声楽部門>

若手音楽家を育てるというハイメスの趣旨のもと、設立以来、道内にゆかりのある若手音楽家の海外研修を支援するため、声楽・ピアノ・管弦打楽器部門の3部門を毎年順次開催しています。過去の入賞者の中からは国内外で活躍する多くのアーティストが育っています。

募集要項、参加申込書は[ハイメスのホームページからダウンロード](#)ができます。

【日時】平成31年3月22日(金) 午前11時開始予定

【会場】北広島市芸術文化ホール(花ホール)

【審査委員】

委員長 堀内 康雄(声楽家・武蔵野音楽大学教授) 他

第31回ハイメス・チャリティー・ニューイヤーディナーコンサート ～新たな飛躍 和と洋のひびき～

今年は北海道にとりましても自然の驚異を感じさせる出来事が数多くありました。謹んでお見舞い申し上げます。

ハイメス・チャリティー・ニューイヤーディナーコンサートは31回目を迎えます。この益金は毎年ハイメスコンクール入賞者の海外研修を支援するための助成金とさせていただきます。

クラシック音楽の発祥の地へ行き、実際に生活をし、劇場で音楽を聴き、同じ音楽を学んでいる方々と交流しながら自分の音楽を育てていく。音楽を学ぶ者にとって、海外で得るものは計り知れません。その海外研修を支援する事業でございます。

31回目のディナーコンサートは“新たな飛躍 和と洋のひびき”と題しまして、ハイメスコンクール入賞者によります若々しい躍動ある洋の音楽、そして箏・三弦・尺八・胡弓と盛りだくさんの楽器で和の音楽をたっぷりとお楽しみいただけるコンサートとなっております。ピアニスト三上絵里香さんは、コルンゴルトがシュトラウスII世のモチーフを用いて技巧的で華やかに作り上げた作品を演奏します。またクラリネット奏者の大久保陽子さんは、ジャズ感たっぷりのミヨールの作品を披露いたします。そしてコンサート後半は和の響きでお楽しみいただきます。吉沢検校「千鳥の曲」、そして宮城道雄の新春を迎えるにふさわしい「編曲松竹梅」他をお送りいたします。

シェフ特製の美味しいお食事と共に、皆様のご来場をお待ちしております。

ハイメス・チャリティー・ニューイヤーディナーコンサート委員会 副委員長 菅原利美

平成31年1月20日(日) 午後5時開始 札幌パークホテル3Fパークホール

Program <司会> 影山裕子 今野博之

♪祝奏

◇尺八 後藤双山 阿部瀨山

山本邦山 作曲「尺八二重奏曲 竹」

♪コンサート

◇ピアノ 三上絵里香

コルンゴルト シュトラウスの歴史 作品21

◇クラリネット 大久保陽子 ピアノ 伊藤千尋

ミヨー スカラムーシュ

◇箏 鈴木順子 梅宮恵里 定久恵子 手塚早苗 大塚里実 尺八 後藤双山

吉沢検校「千鳥の曲」 宮城道雄「唐 砧」 宮城道雄 編曲「編曲松竹梅」



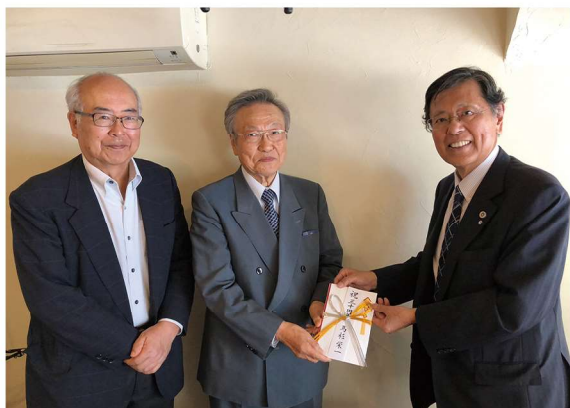
第23回ハイメスコンクール
<ピアノ部門>第1位



第30回ハイメスコンクール
<管弦打楽器部門>第1位



ご寄付の御礼



9月13日(木)、ハイメス個人会員であり、現在監事を務めていただいております馬杉栄様からハイメスの創立30周年を祝して、また今後のハイメスの更なる活躍、活動を願って30万円のご寄付がありました。

馬杉様には長年ハイメス会員としてニューイヤディナーコンサートをはじめ各事業へのご協力、ご支援をいただいております。

藤田久雄理事長、長沼修副理事長の両名から、長年のご理解とご協力の厚く御礼申し上げるとともに、今後もより一層努力してまいりますと感謝と決意をお伝えしました。

このほかに、創立30周年記念コンサートでは、(株)伊藤組 取締役社長 伊藤義郎様、北海道医師会 会長 長瀬清様から過分なるご祝儀を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

インフォメーション

●平成30年度年会費納入のお願い

本年度の年会費納入につきましてご案内をお届けしております。当会の運営・活動へのご理解、ご支援のほど何卒お願い申し上げます。

会費：一般アーティスト会員は5,000円、学生アーティスト会員は3,000円、企業・団体、個人会員は一口10,000円からです。

振込先：

北洋銀行 本店 普通 0780005
北海道銀行 本店 普通 2735679
ゆうちょ銀行 二七九支店 当座 0092801
口座名:NPO 法人ハイメス

※北海道銀行のATM機でお振込みいただく場合の口座名は、「特定非営利活動法人 北海道国際音楽交流協会 理事長 藤田久雄」となります。

編集後記

平成がゆっくと幕を降ろそうとしています。今から30年前の1988年、平成のはじまりにあわせるように誕生したハイメスは、今年、その30年の歩みを振り返りながら、様々な事業を企画し実施してきました。更に北海道の歴史の5分の1を共に歩んだハイメスにとって、北海道の音楽文化を担う事が出来たのであればこれ以上に嬉しい事はありません。その歴史を紐解き強く感じた事は、今の私よりもお若かった先人たちがハイメスを創立しようと奔走し、それを実現した情熱。時代が移り価値観も多様化していますが、30年前の情熱を引き継いでいけるのは、やはり情熱でしかないのではないか。表に溢れ出るものばかりでなく、沸々と燃え続ける深く確かな情熱こそ次世代を構築する力になるのではなからうか、と強く感じる今日この頃です。

(広報委員 駒ヶ嶺)

《ハイメス記念誌編集作業、募進中！》

創立30周年記念誌の編集作業が、佳境に向かって目下徐々にヒートアップ中です。

20周年記念誌を経た慣れでスイスイ進められるかも、という楽観的油断は出だしてあつけなく撃沈。それからあっという間に1年以上が過ぎました。むしろ前号があつての苦労に翻弄されて、コーヒーはストレス緩和作用をものすごく信じて飲むようになりました。校了想像図を各々励みに、目の前の作業をやや急ぎ足でコツコツと積み重ねていく我々少数名、完成時に幽体離脱していませんように・・・とても頑張っています！



広報誌のバックナンバーは公式HPから！

ハイメス

検索

<http://www.himes.jp>

■企画・制作 ハイメス広報委員会

長沼修(ハイメス副理事長) 立花雅和 駒ヶ嶺ゆかり 森吉亮江

NPO法人北海道国際音楽交流協会 (ハイメス)

〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル6階SIS内

☎ 011-232-7592 / Fax.011-232-7793

E-mail : office@himes.jp